

発災直後の安否確認 試験的实施アンケート

実施日 2021年9月1日（防災の日）AM11:58

56人参加（西林町会、東林町会、上動五三町会）

1、黄色い布を玄関先に提示しての安否確認をする方法を、どう思いますか？

- 実践したい 46票
- どちらでもない 10票
- 実践したくない 0票

2、実際の、玄関先に提示する時、いかがでしたか？

- 簡単だった 54票
- 少し手間がかかった. 2票
- 難しかった 0票

3、黄色い布（手拭いなど）の準備についてどう思いますか？

- 安否確認手拭いが用意されたら、購入したい 38票
- 黄色い布を、自分で用意する 18票

皆様のご意見

- 布を玄関先に提示する方法は、とても簡単でよい方法だと思います。実際に災害が起きた時、ある程度の時間内にどれだけ安否確認が出来るかというのは、ひとつのポイントになると思いますが、特別な方法が何もない今、出来る方法の一つだと思います。
- 自分たちで出来るものとしては、簡単でよいと思います。
- 完璧なものはないかもしれませんが、何もしないよりは、絶対に良いと思います。日頃からの訓練で準備をしていることで、間違いなく被害を減らすことが出来ると思います。
- 文京区で、布を配って住民に『黄色い手拭い安否確認』を周知してもらいたいです。
- 黄色い手拭いは目立つので良好！常時、保管場所を設定しておく必要があるかも？
- とても良い方法だと思います。ご苦労様です。阪神大震災を体験したので、災害時の安否確認はとても大切なことだと感じております。行政だけに任せているのではなく、自分達でも取り組むことが大切です。
- 安否確認の試験的实施をして下さり、ありがとうございます。その意識と積極的な取り組みに心から感謝しています。このような活動には、とても労力が要ります。安否確認が最重要な住民（一人暮らし、病気など）をピックアップしておくことが必要だと思います。個人情報に関係することなので、それも大変な事かもしれませんが。
- 黄色い布を、文京区もしくは町会などで、無料配布して頂ければとてもありがたいと思います。（簡易的な説明文入り）
- マンションの場合、玄関先かベランダか事前に決めておく必要があると思います。
- 4階に住んで居る為、当日1階まで移動できるか分かりません。その時は、ベランダの手すりに提示しても良いですか？黄色い布は、同じ物の方が分かり易いので、出来れば、統一された方が良いのでは？
- 高齢者にはとても良い確認方法だと思います。また、提示場所を玄関先と決めず、2階の窓等、自分の居場所で皆さんに一番目立つところでも良いのでは？

●今迄、他の地域で実施されている所があると聞いていましたが、この地域で実験でも実施してくださって良かったと思います。ご近所同士で実際にやってみれば何か事が起きた時に気にかけてみる事が出来ますが、何もしてなければ、あの布は何？で終わってしまいます。布が出ていれば、この家の方は無事と解るし、出ていなければ皆で助け合う事が出来ます。地域で考える必要のあることだと思います。防災訓練でわざわざ訓練の場所に行かなくても日時を決めて布を出す事を防災訓練とすれば、参加者が増えると思うし、出し忘れた人があればもしかしたら認知症を疑い助け合うことも出来ます。早急に実施するように望みます。

●町内全体で実施できると良いですね。集合住宅の場合、出入りもあり、少々無理なところもありますね、、、管理人さんとの連絡が必要かも、、、 ●同居人中で、安否が確認できてない人がいる場合はどうするのか？例) 布にマジックで、状況を書く。黄色の布の他に赤い布も用意し、両方の布を提示する。何も提示していないお宅の次に声をかける事が出来る。

●黄色い布を出す安否確認方法が広く、皆に周知しているならばこの試験に賛成ですが、9月1日の防災サイレンにも気づかず知人からの呼びかけで出したのが実際です。安否確認の方法としては簡単で良いとは思いますが。「火事があれば119番」のように「安否確認は黄色い布」の言葉が、広く世間に伝わり近所の方の意識が高まれば声掛け等も出来ると思います。今は災害があった時に、「黄色い布」が頭に浮かんできません。

●全世帯をもれなく安否確認できる組織にしなくては意味がない。自己満足に終わる。では、どのような組織づくりをするか？グループ毎の長の横の連絡。それを統括する人のように積み上げて一人ももれなく把握する方法を実現。特に忘れてはいけないこと。一人住まい(特に老人)や身体障害者の方々の安否確認を行う方策。

●今回の試験方法で、今後安否確認を実施することになった場合、在宅時外に災害が発生し、布を提示出来ないケースだと、そのような世帯の安否確認はご近所の誰がどの範囲で行うか等、細かい規定や、事前の打ち合わせが必要になるのではと感じた。

以上
防災士・ペット災害危機管理士
佐々木潤子
9.28.2022